

## 高橋 美博 議員

### 教員の長時間勤務の改善は

**問** タイムカードによる出退勤時刻の記録と、超過勤務時間の把握はどうか。

**答** これまででは教員の自主申告制だったが3月から全学校にタイムカードを導入する。1月までの10カ月間では土日の部活動を含む月平均の超過勤務時間は、小学校約47時間、中学校約73時間。過労死ラインとされる80時間を超えている教職員数は、月平均で小学校28人、中学校65人となった。

**問** 学校・教員が担ってきた業務の見直しはどうか。

**答** 各校で行事や会議の削減・精選により、教育活動の見直し・改善を図っている。2020年度からの新学習指導要領の完全実施に伴い、水泳大会や陸上大会、音楽発表会の課外活動は2019年度をもって廃止する。



山名小学校 授業風景

**問** 教員の働き方に対する意識改革の取り組みはどうか。

**答** 学校閉庁日の設定、留守番電話の設置、校務システムやICT機器の導入、レインボープランによる支援員やスクールサポートスタッフの増員、部活動ガイドラインの策定等を実施してきた。各校では、校長のリーダーシップの下、教員が時間管理の重要性に目を向け、効率的に仕事を行い、働き方に対する意識改革につなげていきたい。

## 佐野 武次 議員

### 児童虐待への対応は

**問** 虐待事例に、即応できる体制は構築されているか。

**答** 平成19年4月から袋井市要保護児童対策協議会を設置している。また、しあわせ推進課と家庭児童相談室を子ども家庭総合支援拠点と位置付け、全ての子どもと家庭等を対象に、関係機関と調整を図りながら、家庭支援や児童虐待事例に、即座に対応できる体制を整えている。

### 職員の人事

**問** 豊富な経験や専門的な知識を習得した職員は、人事の配置を固定しては。

**答** 人事異動は適材適所を第一に考え、職員の意向や経験も考慮しているが、今からの時代、専門性を要することやその方がより力を発揮できることなどといった、さまざまな観点から検討していきたい。



袋井市役所

### 幼稚園や保育所等職員の現状は

**問** 退職者が多いが、幼稚園等の運営上の支障や職員の負担は増加していないか。

**答** 正規職員は確保できているが、代替職員等の確保は難しい状況である。担任の職員配置や園の運営に対応できる体制を整えており、今後も園運営を適正に行えるよう、職員確保に努めていきたい。